

コンビナトリアル・バイオ工学研究部会代表

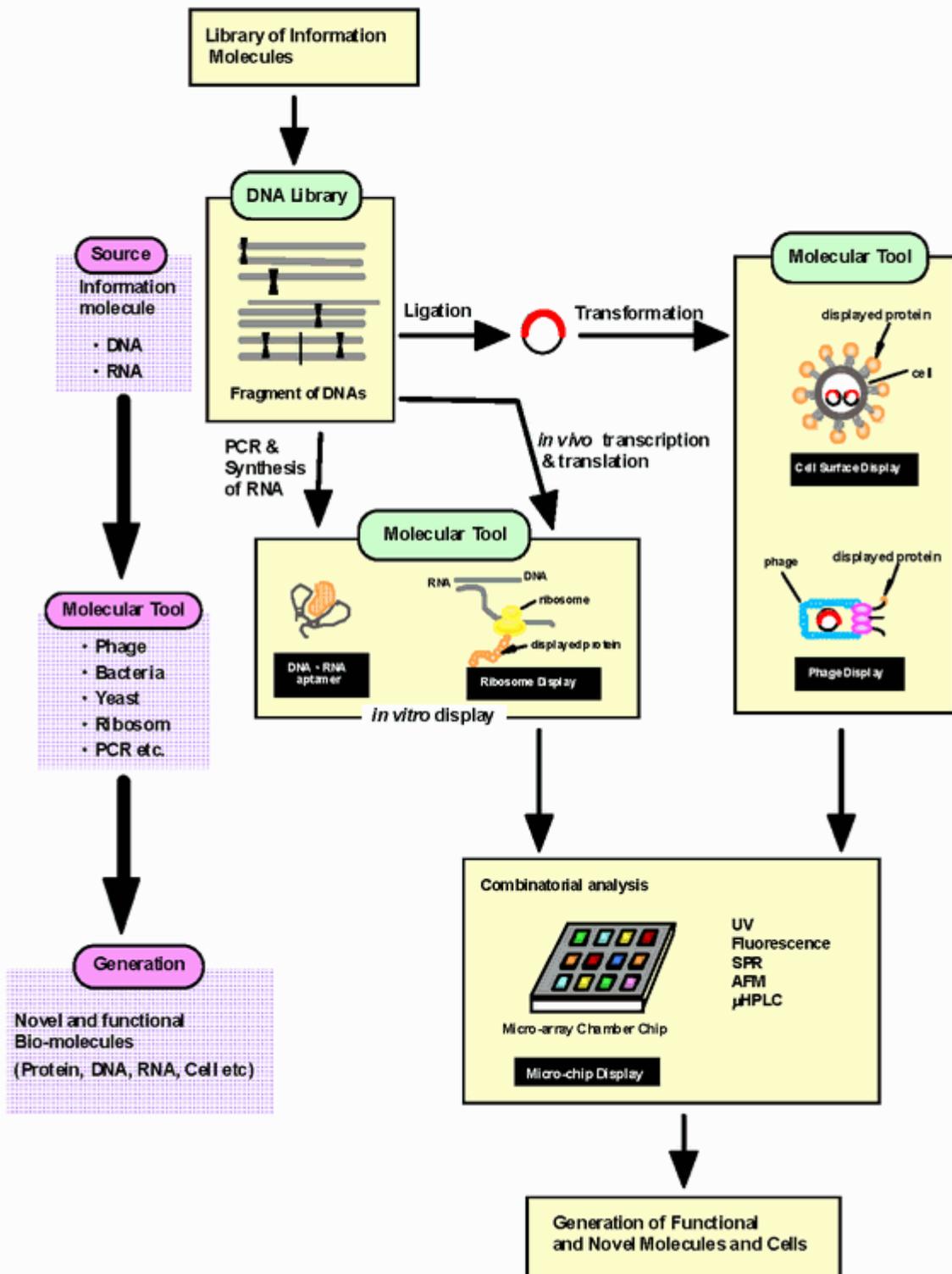
京都大学大学院農学研究科

植田 充美

⇒ [研究紹介図](#) 

コンビナトリアル・バイオ工学研究部会では、情報分子としてのDNAの分子ライブラリーを用いて、それらを機能性DNAやRNAやタンパク質のライブラリーに変換するためのツールとして、酵母や動植物細胞、あるいは、ファージや原核細胞の細胞表層を用いる分子ディスプレイ法の展開、さらに、創製された多くの組合せの（コンビナトリアルな）情報分子ライブラリーをハイスループットに選択できる系の創出に関する情報交換を行っています。これにより、まったく新しい新機能バイオ分子や細胞のサイエンスの創造への展開と網羅的な変異を基にした新しいタンパク質「考」学をめざす研究活動とともに、関連した種々のプロジェクト起案・提案をもとに、新領域研究への融合展開を続けています。

Combinatorial Bioengineering



構成員

代表	植田 充美（京大院・農）
委員	近藤 昭彦（神戸大・工）
	福崎 英一郎（阪大院・工）
	中野 秀雄（名大院・生命農学）
	吉村 徹（名大院・生命農学）
	藤井 郁雄（大阪府大・先端科学）
	片倉 啓雄（関西大・工）
	民谷 栄一（阪大院・工）
	伊藤 嘉浩（理化学研）
	上田 宏（東工大院・工）
	河原崎 泰昌（静岡県立大）
	津本 浩平（東大院・新領域）
	二木 史郎（京大化研）
	荻野 千秋（神戸大・工）
	馬場 健史（九大・生体防御医学研究所）
	芝崎 誠司（兵庫医療大）
黒田 浩一（京大院・農）	

⇒過去の研究部会一覧はこちら